

神から見た「○○」の書き方例

神から見た『お母さん』

氏名 _____

私は神でした。お母さん、あなたも神だったんですね。私とお母さんは神として一つだったんですね。

お母さんが私にしてくれたことは、親だからあたりまえだと思っていたけど、そうでは、なかったんですね。

あれこそまさに、お母さんの無償の愛を通して見せてくれていた神の愛だったんですね。ああ、今まで気がつきませんでした。本当にごめんなさい。小さい頃、こういうこと(「過去の思い出」を参考に特に印象にある具体的な出来事等を書く)をしてくれましたね。

病気のときは寝ずに看病してくれました。毎日作ってくれた食事も、当たり前のように思っていました。そうではなかったんですね。お母さんがどういう思いをして私の為に作ってくれていたのか、私はわかっていませんでした。お母さん本当にごめんなさい。お母さんが私にしてくれたことは、親の無償の愛を通して見せてくれていた神の愛だったんですね。私は感謝が足りませんでした。

また、お母さんはこういうこと(具体的な内容を書く)をしてくれましたね。

困っているとき、本当に親身になって助けてくれましたね。あの時は本当にありがたくて、お母さんが居てくれて本当に良かったです。そのことは十分感謝していると思いましたが、そうではありませんでした。お母さんは、私の感謝では到底届かないくらい深い深い愛で接してくれていたんですね。まさに神の愛そのものだったんですね。感謝しているつもりだったけど、私の感謝は本当の感謝ではありませんでした。本当にごめんなさい。今わかりました。これまで気づかなくて本当にごめんなさい。そこまで深い神の愛で見守ってくれていたんですね。お母さん本当にありがとう。また、こういうこと(具体的な内容を書く)もありましたね。それこそまさに神の愛でした。ほんとうに気づかずにごめんなさい。………………。 (用紙の表が埋まるくらい続けて書く)